

のおと

ユーザーマニュアル

作成日 2006 年 2 月 2 日

更新日 2006 年 2 月 2 日

のおとプロジェクト

- 目次 -

1.	はじめに	2
2.	「のとお」概要	2
3.	画面説明	3
4.	操作方法一覧	4
5.	アンカー	6
6.	入力モード	8
7.	ペン	8
8.	グループ	9
9.	テキスト	11
10.	図形	12
11.	ページ	16
12.	キー設定	17
13.	保存	18
14.	印刷	18

1. はじめに

1.1. 著作権情報

Copyright © 2005-2006「のとお」プロジェクト

1.2. 動作環境

JRE version 1.4 以上

1.3. モジュール内容

note.jar ... 「のとお」本体

configuration/ ... 「のとお」のキー設定ファイルフォルダ

1.4. 起動方法

note.jar を実行する。

1.5. このマニュアルについて

このマニュアルに書かれている操作方法はすべて初期設定時のものです。

2. 「のとお」概要

2.1. 「のとお」とは

「のとお」とは大学の講義「のとお」をとることを目的としたエディタです。デジタルのメリットを活かしながら、アナログの操作感覚を大事にしています。

2.2. 主な機能

- **テキストと図形の入力**

テキストと図形を入力することができます。

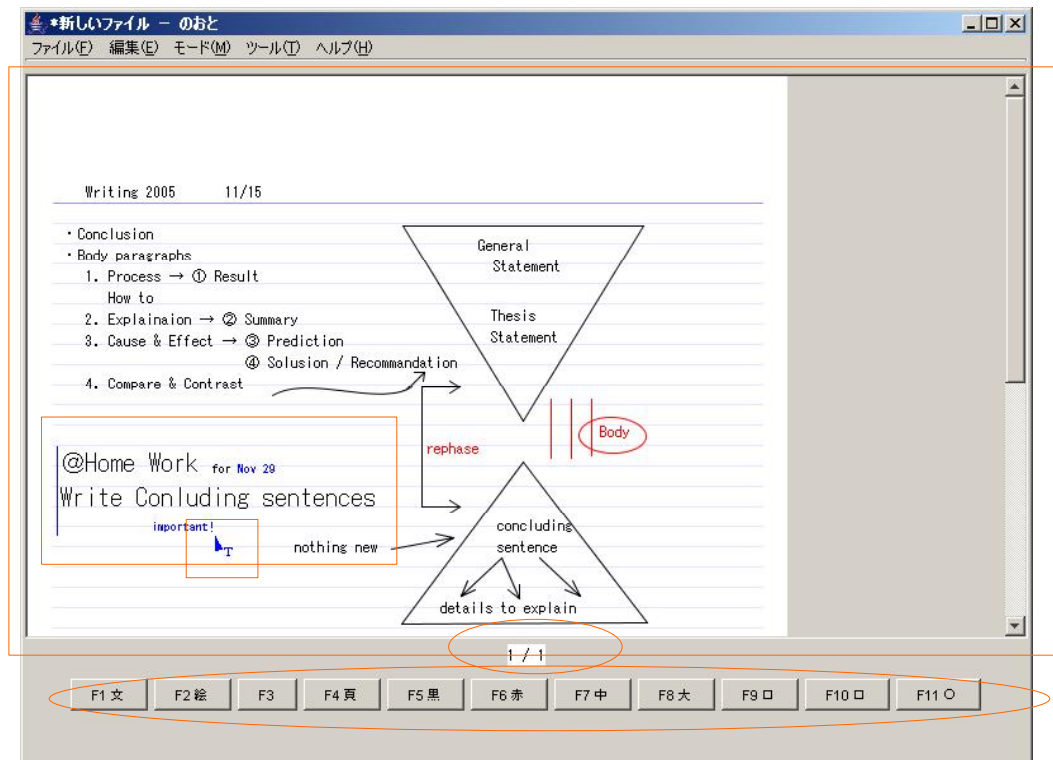
- **自由なレイアウト**

入力したテキストや図形を自由にレイアウトすることができます。

- **キー操作による位置指定、図形入力**

入力箇所を示すアンカーをキー操作で移動することで、入力位置の指定、図形の変形をキー操作により行うことができます。

3. 画面説明



編集画面

「のとお」での編集画面です。画面の中には編集しているページと入力されているテキストや図形が表示されています。

編集中のグループ

テキストや図形で構成されたグループ（「のとお」でのレイアウト単位）です。画面内には他の確定された（編集集中でない）グループが複数あります。

アンカー

テキストや図形を入力し始める場所を指しています。アンカーの場所にはペンの状態や、現在のモードを判別することのできるアンカーアイコンがあります。

ページ数テキストエリア

ページ番号 / 総ページ数 を表示しています。

編集しているページのページ数とこのノート（ファイル）の総ページ数を確認できます。

ファンクションパネル

ファンクションキーに登録されている機能を表示しています。これらのボタンを押すことでファンクションキーを押したのと同様の操作が可能です。

4. 操作方法一覧

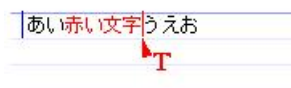
初期状態での操作方法の一覧です。

			操作
入力モード切り替え	テキスト入力モードに切り替え		F1
	図形入力モードに切り替え		F2
ページ操作	前のページ		F3
	次のページ		F4
	ページ挿入		Shift + F4
ペン切り替え	色を黒にする		F5
	色を赤にする		F6
	色を青にする		Shift + F6
	サイズを中にする		F7
	サイズを大きくする		F8
	サイズを小さくする		Shift + F8
罫い図形入力	四角		F9
	角の丸い四角		F10
	円		F11
	下線		F12
	波線		Shift + F12
アンカー移動	16px 移動	上	Ctrl + I
		下	Ctrl + K
		左	Ctrl + J
		右	Ctrl + L
	1px 移動		Ctrl + 十字キー
テキスト入力モード中の操作	テキスト選択		Shift + キャレット移動
	テキスト削除	前方削除	BS
		後方削除	Delete
図形入力モード中の操作	図形選択		Shift + 十字キー
	図形入力		別記
	図形変形		図形点上でアンカー移動
	図形削除	前方削除	BS
		後方削除	Delete
編集操作	コピー		Ctrl + C
	貼り付け		Ctrl + V
	切り取り		Ctrl + X
	取り消し(Undo)		Ctrl + Z
	やり直し(Redo)		Ctrl + Y
ファイル操作	保存		Ctrl + S
	別名保存		Ctrl + A
	印刷		Ctrl + P
グループ操作	グループ再編集		グループを選択してクリック
	グループ選択	選択	グループをクリック
		範囲選択	グループ以外の場所からドラッグ
		追加選択	Ctrl+クリック
	グループ移動		グループを選択してドラッグ
	グループコピー		グループを選択して Ctrl+ドラッグ
	グループ削除		グループを選択して右クリック
			グループを選択して Delete

	図形	キー
図形キー	三角	Q
	円	A
	四角	S
	角の丸い四角形	Shift + S
	棒線 上	I
	棒線 左	J
	棒線 下	K
	棒線 右	L
	矢印 上	Shift + I
	矢印 左	Shift + J
	矢印 下	Shift + K
	矢印 右	Shift + L
	<	<
	>	>
	/	/
	\	¥
	—	—
	+	+
	*	*
	[[
	{	{
]]
	}	}
	((
))
	=	=
	^	^
	~	~
	棒線	
	空白	Space

5. アンカー

「のおと」では現在の入力箇所をアンカーというアイコン画像で示します。また、アンカーのアイコンから現在の入力モード、操作状態、ペンの色とサイズが分かります。



5.1. アンカーの移動




移動キー (Ctrl) を押しながら移動用に設定されたキーを押すことによって、アンカーの位置を移動することができます。

アンカー移動操作(初期設定時)

移動キー	上	下	左	右	移動距離(ピクセル)
CTRL	I	K	J	L	16
					1

5.2. アンカーのアイコン

・ テキスト入力モード時のアイコン

ペンの属性	小	中	大
アイコン			

・ 図形入力モード時のアイコン

ペンの属性	小	中	大
アイコン			

状態	通常	図形変形	移動
アイコン			

・ ペンの色

ペンの色によってアンカーの色が変わります。

例: 文字入力モードでペンが赤の場合



・ アンカー移動中

アンカー移動中を示すアイコンになります。

例: 図形入力モードでアンカー移動中の場合



6. 入力モード

「のおと」ではテキスト入力モードと図形入力モードを切り替えながら入力を行います。
現在の入力モードはアンカーのアイコンから確認できます。

6.1. テキスト入力モード

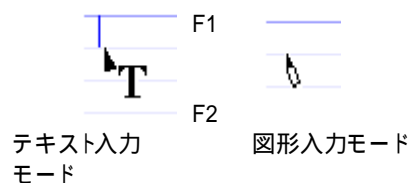
テキストを入力するモードです。(詳しい操作方法は 9. テキスト を参照)

6.2. 図形入力モード

図形を入力するモードです。(詳しい操作方法は 10. 図形 を参照)

6.3. 入力モード切り替え

F1 でテキスト入力モード、F2 で図形入力モードに変更します。



7. ペン

ペンを指定する事で、入力の際の色やサイズを指定することができます。テキストと図形は常にペンに応じた色とサイズで入力されます。

例えば「大」で「赤」のペンを使っているときは入力されるテキストは大きく赤く、入力される図形は大きく赤いものになります。

ペンの状態はアンカーのアイコンから確認することができます。

7.1. ペンのサイズ

指定できるペンのサイズは「大」「中」「小」の3種類です。

7.2. ペンの色

指定できる色は3色です。(初期設定時「黒」「赤」「青」)

7.3. 入力済みの要素の属性変更

テキストや図形を選択してペンを変更する事で、色やサイズを変更することが出来ます。

8. グループ

「のおと」では入力要素をレイアウトする単位を「グループ」として扱います。入力されたグループは移動、コピー、削除することができます。

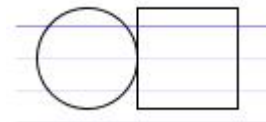
グループはテキストのみで構成された「テキストグループ」、図形のみで構成された「図形グループ」のみで、テキストと図形の両方を含んだグループを作成することはできません。

8.1. グループ入力

入力が開始されてから確定されるまでが1つのグループになります。確定されたグループの内容は編集することができなくなります。

文字を入力する。
複数行でも1つのグループ。
←の基準線があるので分かりやすい。

確定されたテキストグループ



確定された図形グループ

8.2. グループ選択

グループをマウス操作で単数～複数選択する事ができます。

- ・ 単数選択

グループを クリック することでクリックしたグループを選択します。

- ・ 範囲指定選択

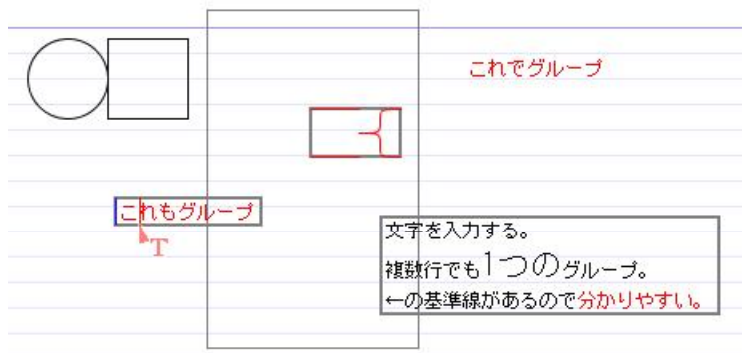
グループ以外の場所で ドラッグ することで矩形範囲を指定し、矩形に含まれるグループを全て選択できます。

- ・ 追加選択

Ctrl を押しながらか選択操作することで追加選択をします。

選択されていないグループを追加選択すると、選択に追加されます。

すでに選択されているグループを追加選択すると、選択から除外されます。



矩形範囲指定による複数グループの選択

8.3. グループ再編集

選択されているグループを クリック することで確定したグループの内容を編集できる状態にします。

8.4. グループ移動

選択されたグループを ドラッグ することでグループを移動します。

8.5. グループコピー

選択されたグループを Ctrl+ドラッグ でグループを複製して移動します。

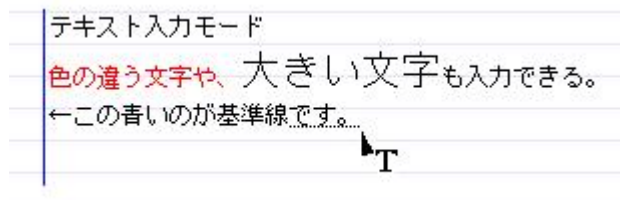
8.6. グループ削除

選択されたグループを 右クリック または Delete で削除します。

9. テキスト

テキスト入力モード中にキータイプすることによってテキストを入力します。

編集状態のテキストグループは左に青色で「基準線」が表示されます。

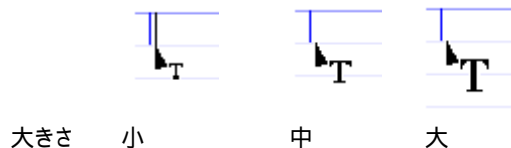


9.1. テキスト入力

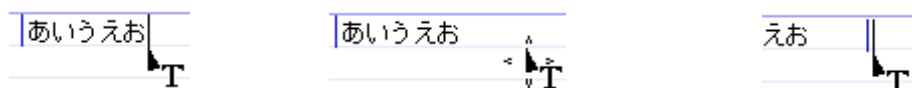
テキスト入力モードの時は通常のテキスト入力方法でテキストを入力できます。



ペンのサイズを変えることによって文字の大きさを変えることができます。ペンのサイズは F7、F8 で変更できます。



アンカーを移動することで入力したテキストを確定することができます。

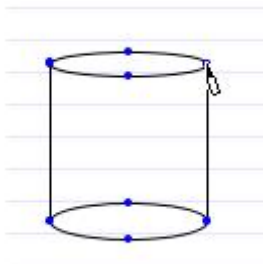


10. 図形

「のおと」で図形入力とはテキスト入力の様に扱う事が出来ます。小さな図形を複数繋げて入力・変形し、描きたい図形を構成します。

編集状態の図形グループは図形点(後述)が青い点で表示されます。

例: 円と直線でサーバー図形を描く



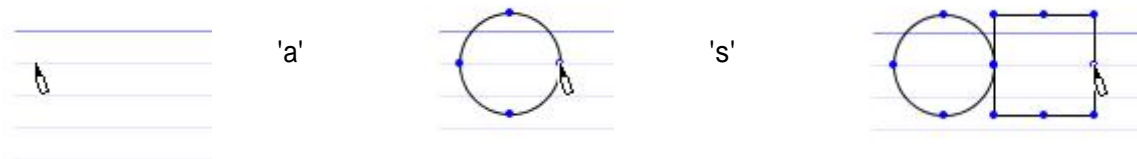
10.1. 図形入力

図形入力モード中はキータイプで図形を入力することができます。通常のテキスト入力に使う各キーにはそれぞれ図形が割り当てられており、タイプされたキーに応じた図形が入力されます。

図形を入力するとアンカーが図形の終点(後述)に移動します。

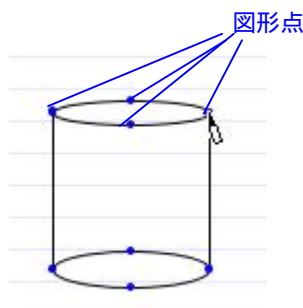
続いて図形を入力すると、アンカーの指す点に繋げて次の図形を入力することができます。

例: 図形入力中に'a'キーに続いて's'キーをタイプした場合



10.2. 図形点

図形は複数の点とそれらを結ぶ線によって構成されています。これらの点を「図形点」と呼びます。
テキスト入力中にキャレットを移動して次のテキストの入力箇所を指定するように、図形点の上を移動して、次の図形の入力箇所を指定します。

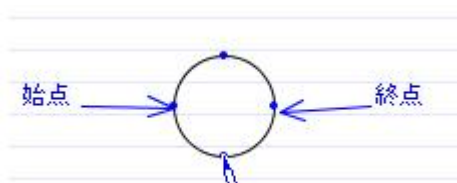


図形の変形は図形点の位置を動かすことによって行います。

図形点にアンカーがあるときに別の図形を入力することで、複数の図形を繋げることができます。

各図形には「始点」と「終点」という特殊な役割を持った図形点が1つずつあります。

- **始点**
図形の入力開始位置を示す点です。図形を入力したとき、この点を入力箇所にあわせるように図形が入力されます。
- **終点**
図形の入力終端位置を示す点です。図形を入力すると、この点が次の入力位置になるようにアンカーが移動します。



円図形での始点と終点

10.3. 図形点間の移動

十字キー（初期設定時）で図形点の上をアンカーが移動します。



10.4. 図形削除

Delete 、 BS（初期設定時）で図形を削除することができます。

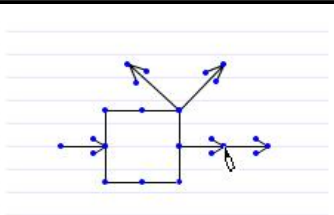
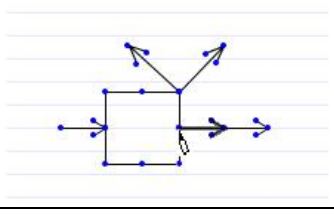
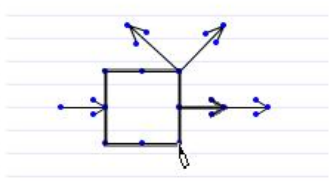
Delete は図形点から見た後方の図形を 1 つ～複数削除します。

BS は図形点から見た前方の図形を 1 つ削除します。

10.5. 図形選択

Shift + を押しながら図形点間を移動することで図形を選択することができます。Shift を押しながら 2 つ以上の図形点を通過された図形が選択されます。選択された図形は線がハイライトされたことで確認することができます。

例: 2 つの図形を選択する

操作	画面	備考
選択キー (Shift) を押す		選択を開始
矢印の始点に選択点を移動する		矢印の操作点が2点選択されたので、矢印が選択状態になる
四角形の右下の選択点に移動する		四角形の操作点が2点選択されたので、四角形が選択状態になる

10.6. 図形グループ確定

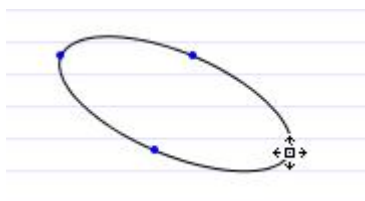
Enter で入力した図形をグループとして確定することができます。

10.7. 図形変形

図形点上にアンカーがあるとき、アンカー移動をすることで、図形を変形することができます。動かす図形点によって変形の種類が変わります。

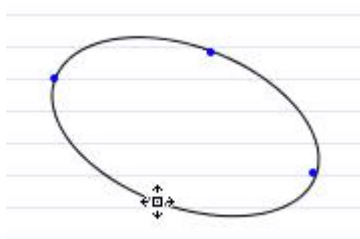
- 始点、終点

動かすことで図形を横方向に拡大 + 回転します。



- その他の点

動かすことで図形を縦方向に拡大します。

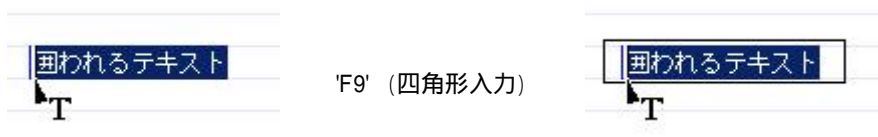


10.8. 文字を囲う図形

テキスト入力モード中、テキストを選択した状態で図形を入力すると、選択されたテキストを囲うように図形が入力されます。

テキスト入力モード中に入力できる図形はファンクションキー (F9 ~ F12) に登録されている図形です。

例: 四角形で選択テキストを囲う



他のFキーには標準で以下のようなものが割り当てられています。

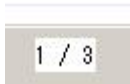


また、これらのキーに別の図形を割り当てる設定をすることで、様々な囲い図形を利用することができます。

11. ページ

「のおと」では紙面1枚を1ページとして扱い、複数ページを1つのファイルとして扱います。

ウインドウ下部のページ数テキストエリアで現在表示しているページのページ番号とそうページ数を確認することができます。



ページ数テキストエリア。

ここでは全3ページ中の1ページ目を表している。

11.1. 新規ページ追加

F4 で「次のページに移動」をしたとき、移動するページがない場合、新しいページが作成され、そこに移動します。

11.2. 新規ページ挿入

Shift + F4 で現在のページの次に新規ページを挿入し、そのページに移動します。

11.3. ページ移動

F4 で次のページに、F3 で前のページに移動します。

12. キー設定

「のおと」ではキー設定をカスタマイズすることができます。

“configuration”フォルダ以下の XML ファイルを編集することで、キー設定を変更します。

- ・ **移動キー設定 : anchormove key.xml**

ファイル内は以下になっています

```
<key code="E" modifier="Ctrl">
  <anchormove type="relative" x="0" y="-16"/>
</key>
```

code の属性値で移動ボタン、modifier の属性値で移動キーを設定します。移動の距離に関しては x と y の属性値を変更してください。

type は relative と absolute が設定できます。Relative は現在いる位置からの相対的な距離、absolute は画面の絶対的な位置になります。

- ・ **ファンクションキー設定 : function key.xml**

ファイル内は以下になっています。

```
<key code="F8" modifier="Shift">
  <penchange size="small"/>
</key>
<key code="F9" modifier="">
  <pictureinput name="Rectangle"/>
</key>
```

移動キーと同様に code と modifier で任意のボタンを選択します。

その下のファンクションの名前によってそのファンクションに登録する機能を選びます。

例えば、上の例で<penchange size="small"/>はペンを小にするという機能に登録し、<pictureinput name="Rectangle"/>は四角形を書く機能に登録します。

- ・ **図形キー設定 : pictureinput key.xml**

ファイル内は以下になっています。

```
<key code="A" modifier="">
  <pictureinput name="Circle"/>
</key>
```

移動キーと同様に code と modifier で任意のボタンを選択します。

その下の name の箇所で書きたい図形に登録します。

13. 保存

13.1. ファイルを保存

Ctrl + S または「保存」メニュー で作成したノートを保存します。

ファイルチューザーから保存先を選択し、「保存」ボタンでファイルを保存します。

また、変更されてから保存されていないファイルを閉じようとする、ファイルを保存するかどうかを聞くダイアログボックスが表示されます。



ここで「はい」を選択するとファイル保存ダイアログが表示され、ファイルを保存できます。

13.2. ファイルを開く

「開く」メニュー で作成したノートを開きます。

ファイルチューザーから開くファイルを指定し、「開く」ボタンでファイルを開きます。

14. 印刷

14.1. ファイルを印刷する

Ctrl + P または「印刷」メニュー で作成したファイルを印刷します。